

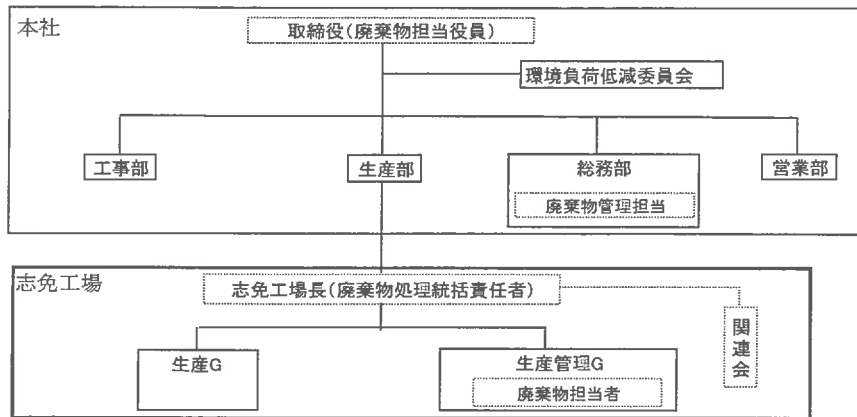
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2024年 6月 7日	
福岡県知事 (市長)	殿
提出者 住 所 福岡県糟屋郡志免町大字志免90番地 氏 名 株式会社 SNC 代表取締役社長 二川 敏明 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 092-935-1382	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 SNC 志免工場
事業場の所在地	福岡県糟屋郡志免町大字志免90番地
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	製造品出荷額 648,734,519円 (前年度実績)
③ 従業員数	65人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別図1参照



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】 別紙のとおり（別紙）		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 廃棄物の排出量が抑制できる工法で製造を行っている。 本年度内に構築物、養生水槽等の解体・撤去でコンクリートガラ（約917 t）・アスファルトガラ（18 t）が発生。		
② 計画	【目標】 別紙のとおり（別紙）		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 従来通り、分別の徹底・細分化の実施 今年度は、構築物等の解体・撤去の予定はありません。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） コンテナで、木くず・混合廃棄物・鉄くずに分別
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 木くず・混合廃棄物で処分している木製パレット・プラスチックパレットは、可能な限り再利用する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

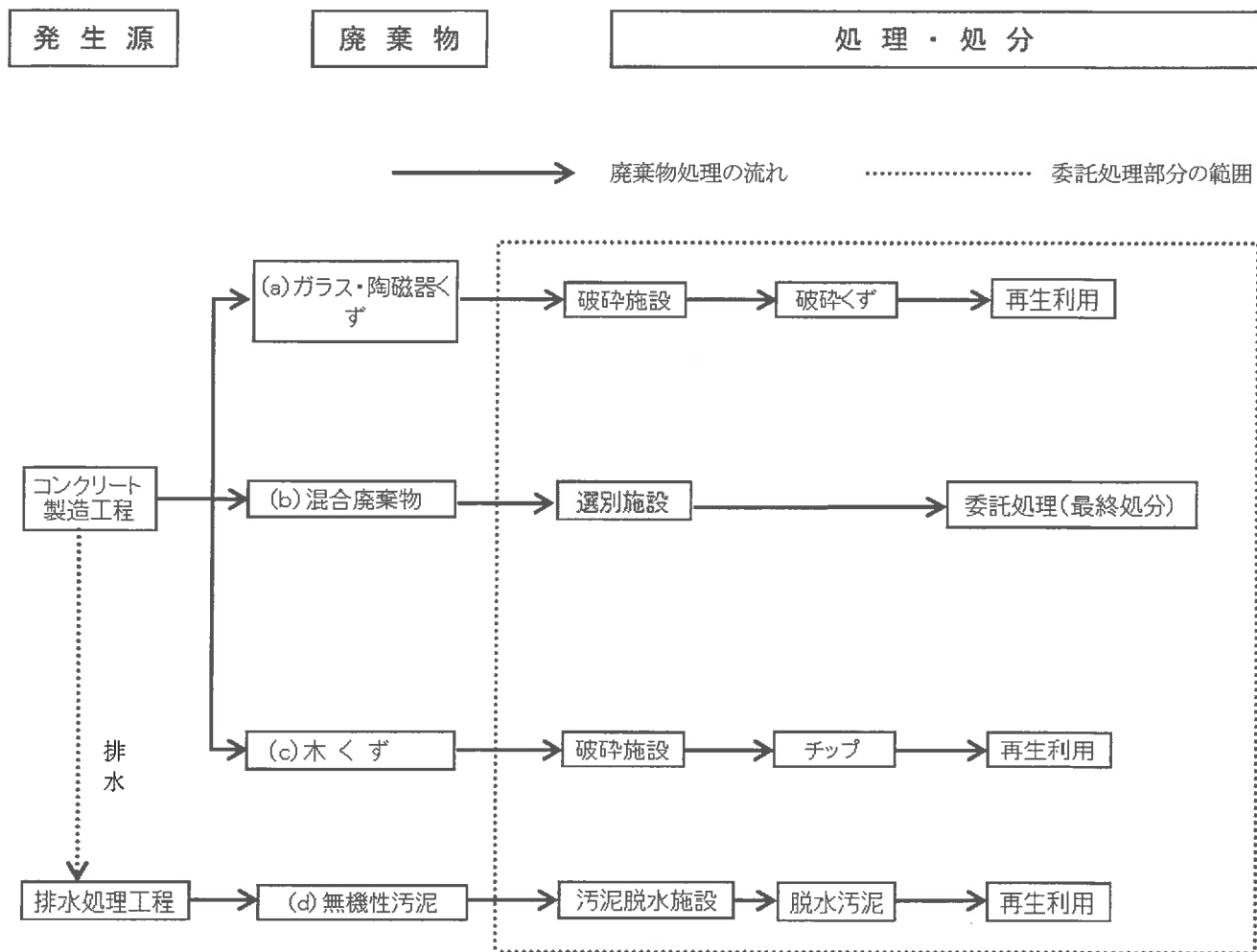
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 「ガラス・陶磁器くず」、「コンクリートがら」、「木くず」は、再生資材として販売している処理業者へ委託している。		

② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 「混合廃棄物」は「優良認定処理業者」へ委託予定。		
※事務処理欄			

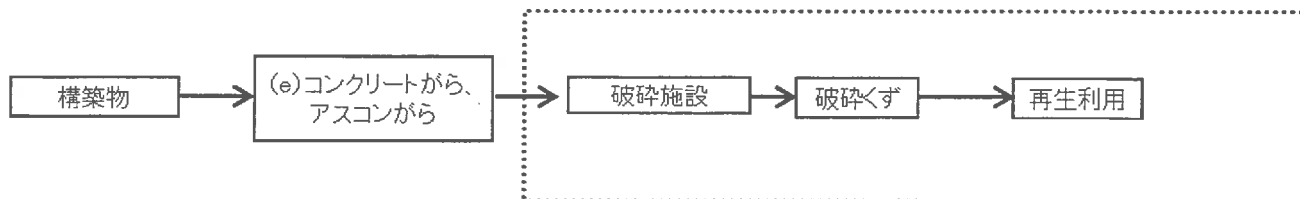
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別図1 廃棄物処理フローシート（現状）



構築物解体フロー



産業廃棄物処理計画書（第2面～第5面）別紙

単位：トン（t）

①現状【前年度(令和5年度)実績】 ②計画【目標】		産業廃棄物の種類							排出量合計
		コンクリートがら	アスファルトがら	陶器くず・コンクリートくず及びレンガ	木くず	混合型廃棄物（安定剤等）			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	排出量	917.29	18.73	715.52	23.34	22.75			1697.63
②計画	排出量	0	0	740	22	20			782
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量								0
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量								0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量								0
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量								0
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量								0
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量								0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量								0
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量								0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	全処理委託量	917.29	18.73	715.52	23.34	22.75			1697.63
	優良認定処理業者への処理委託量	917.29	18.73	715.52	0	22.75			1674.29
	再生利用業者への処理委託量	917.29	18.73	715.52	23.34	0			1674.88
	認定熱回収業者への処理委託量								0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								0
②計画	全処理委託量			740	22	20			782
	優良認定処理業者への処理委託量			740	0	20			760
	再生利用業者への処理委託量			740	22	0			762
	認定熱回収業者への処理委託量								0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								0